

ここは本当に幼稚園・・・？

トモエは札幌市の認可幼稚園。お父さんお母さんや、兄弟や祖父母など家族と一緒に通い、過ごせる場所でもあります。赤ちゃんからおじいちゃんおばあちゃんが集って、まるで大家族みたい。だから、通っているお母さん達はトモエ幼稚園のことを、ただの「トモエ」って呼びます。だって、幼稚園っぽくないところだから・・・。

注目され続けているトモエ、その理由

トモエには、世界中から各分野の見学者が絶えません。それは、トモエが乳幼児期の環境が人格形成に大きな影響を与えると考え、実践研究しているからです。親、教師が助け合って、子と共に豊かな感性を育ち合える生活環境を日々つくろうとしている場です。

自然の中で共に遊び、共に暮らす中で、お互いを尊重し、子どもだけでなく、大人も成長し合えることはトモエの特徴のひとつです。



これから幼稚園をお探しの方
だけでなく、妊婦さんや
関心のある方ならどなたでも
見学・体験に来ていただけます

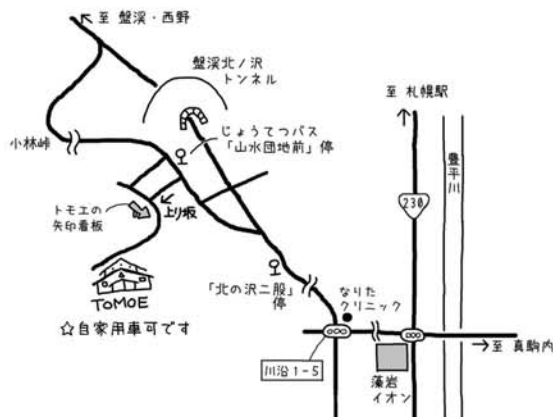
要連絡・可能であればお休み明け以外の日をお願いします

〒005-0832

北海道 札幌市 南区 北の沢1963番地

TEL・FAX : 011-572-3920

Email : forest@sapporo-tomoe.jp



園バスあります(西野方面・石山通方面)。乗車場所はHPで確認いただき、見学の日時等を連絡いただくときに、乗車の旨お伝えください。

◆トモエ幼稚園ホームページ◆

<https://sapporo-tomoe.jp>

2018年秋
リニューアル
しました！

◆トモエのFacebook & Instagram あります◆



◆トモエ幼稚園～母たちのブログ～◆

<http://tomoehaha.seesaa.net/>

トモエで あそぼ！

豊かな自然



家族で通える
幼稚園



自然体験型特認幼稚園
学校法人 創造の森学園
札幌トモエ(家族の)幼稚園
発行: 札幌トモエ幼稚園在園・卒園の母
(松本さつき・山中緑・西尾早苗)
題字: 松本あや(卒園・小学2年)

さあ 今日は何をして遊ぶのか...!

子どもが思い思いに自己表現している姿にいいなあー！と思う。大人も自己表現しています 在園母



トモエはその子を一生というものさしで見て幸せな人生を送れるように考えている、時間軸の長い場所だと感じる 卒園父



子どもの頃に遊ぶすべてを心得ていた人は、おとなになって働くすべてをわきまえた人間になります。...スイス精神医学者 ポール・トゥルニエ博士



山菜を採ったり、沢探検をしたり、ボディペイントやスタンスラリー、バスでお出かけ等、平日もたくさんのイベントがあります。また、月に1回程度、卒園家族も参加できる集いの日もあります。



「本人らしさ」を大切に

卒園母
第一子が卒園して十数年が経ちましたが、トモエで私自身が育てられたことを、年々実感しています。母である私がいつも意識して、トモエで吸った温かくて優しい空気を、家庭で子どもたちに吹きかけながら、今まで4人の子育てをしてきました。子どもたちは大きくなった今も、家に帰って来たらすぐに、いろいろな話をして自分を素直に表現してくれます。子どもたちが個性なのは、乳幼児期に「本人らしさ」を大切にされてあげられたから。子どもたちが、自分の真ん中に自分が在る事ができたから。トモエでは親も子ども家族も、互いに関わり合い、補い合いながら、生活しています。わが子の気がかりなこと愛おしく思えるようになりました。人間としての基礎を作る乳幼児期に大切にしたいこれらのことを、大切にできる空気です。



ひとりの子どもを育てるのに村人みんなの力が必要...外国のことわざ



日々、楽しく生きる。園長 木村仁
日々、創造的な生活をするのがどんなに楽しいものであるのか、私自身、乳幼児から教えられて50年になりました。トモエの生活は、「人間とは何か」を、乳幼児とその家族に学びながら創られてきたものです。50年前に、子どもたちに学んだことは、自然の中で見たり触れたりすることで、大人が想像する以上に五感が刺激され、豊かな感受性が引き出されるということです。またトモエは、大人がどのように生きているのかを、乳幼児に見せている「人生劇場」の舞台のようなものと言えます。日々楽しみながら、自分らしくどう生活しているのか、どのように変化しているのかを感じ取って生きているのも乳幼児期の子ども達です。大人自身、自分はどのような人間になりたいのかを、多くの人を見ながら学び、「自分なりの人生設計」を立てていきませんか。我が子の幸せな人生を考えるなら、自分の人生を楽しく創造することしかありません。



園舎はオープンスペースで、教室もありません

一日の流れ

好きな人と、好きなところで遊んでOK

10:00 ~ 園バス(行)到着
自発活動

11:30 ~ お昼ごはんの
アナウンス

13:00 ~ 年齢別に集まって
課題遊び
(週3回)

14:00 ~ 園バス(帰)出発

台所もゴハン作ってもOK

別の年令の集まりに参加もOK

やりたくない気持ちも尊重される

子どもの主体性を大切に生活することを意図しています。